スーパーグローバル大学（SGU）創成支援事業のロジックモデル

資料１－４

インプット

ＳＧＵ予算

物品費
設備備品費・教務システムの導入
消耗品費

人件費
プログラムコーディネーター
外国人教員
高度専門職

謝金
海外の協定大学からの招聘講師

旅費
海外キャンパス展開に係る調査
講師招聘旅費

その他
外注費
文書翻訳委託費
印刷製本費
パンフレット作成
その他
シンポジウム等開催のための会場借料

運営費交付金等（基盤的経費）

物品費（通信・ネット環境整備）
人件費（教職員給与）等

アクティビティ

- 学内又は有識者会議の開催、方針のとりまとめ
- 研修
- 海外大学訪問
- シンポジウム開催
- 内外シンポジウムへの参加
- 留学フェアへの参加
- 教育プログラム作成・実施
- 翻訳作業等外注

アウトプット

徹底した大学改革と国際化

- ビジョン・中期計画の策定
- 組織再編
- 規程整備
- 国際通用性を見据えた人事評価制度の導入
- 高度専門職の採用・育成
- 外国人教員の増加
- 入試における国際バカロレアの活用
- 外国の大学で学位を取得した日本人教員の増加
- 外国人留学生の増加
- 日本人学生の留学増加
- 大学が定めた語学力基準を満たす学生の増加
- 外国語のみで卒業できるコースの数等
- シラバスの英語化

初期アウトカム

ガバナンス

- **国際化のための学内意識の醸成**
- **国際化推進部署のイニシアティヴによる意思決定**

組　織

- **人事、教務システムの整備**
  →例：外国人教職員も働きやすい人事・労務制度の構築
- **事務職員の高度化**

教育・研究

- **教職員の多様化**
- **学生の流動化**
  （日本人学生の留学、外国人留学生の受け入れ、大学間学生交流）
- **留学支援体制の構築**
- **学事歴の変更**
  →国際化に対応した学事歴
- **国際共同学位プログラム**（ジョイントディグリー等の開設）

「日本の大学」から「世界の大学」へ

中・長期アウトカム

大学の**体質改善**により、**組織文化が変化**

国際化を先導するグローバル大学（約30校）を日本に創設

- **○外国人教員・留学生の受け入れ環境整備**
- **○日本人学生のグローバル化**
  （語学力、国際感覚・教養）
- **○国際交流・研究ネットワークの構築**
  （共同学位の授与等）

補助金終了後の自走化

SGUの成果普及

大学の国際競争力強化

高等教育の国際通用性

ＳＧＵ以外の大学

ＳＧＵの成果を踏まえ、各大学の特性・事情を踏まえ国際化

背　景

人口減少社会、経済社会のグローバル化
ＡＴやＩｏＴ等の先端技術の進展
10年先が予測困難とも言われる時代

大学は国の成長を牽引する知的拠点としての役割が求められる

優れた人材育成の基盤整備

インパクト

日本の大学において、

- ○世界を舞台に活躍できる人材の輩出
- ○各分野における世界第一線の研究に基づく技術革新
- ○世界中から優秀な留学生が集い、人材のハブが形成され、我が国の国際化が進展

これらが絶えず生み出される「社会システム」の構築

- ○科学技術イノベーションを通じた技術革新による社会の持続的発展
- ○高い教養と専門的能力の涵養による一人一人の豊かな生活の実現

インパクト達成に向けた他の政策例

- **○大学教育の質保証、情報公開**
- **○リカレント教育の推進**
- **○社会人学生受入**
- **○雇用の流動化**
- **○初等中等教育との連携**